

## 1. はじめに

SEをはじめとする情報系技術者の46%は自分自身を不健康だと感じている[1]。またSEにとってインターネット利用は公私問わず欠かせないものである。これらのことから、運動しなければネット利用できなくなるようなシステムを作ればSEの運動不足問題を解決できるのではないかと考え、Kinectを使った運動強制システム「Snatcher」を開発した。

## 2. システム概要

### 2.1 特徴

Snatcherは運動とWWWアクセス制御を組み合わせたもので、「提示された回数の運動をしなければ、webページを閲覧できない」システムとなっている。またKinectを使うことで、敬遠されがちな運動をゲーム感覚で行える点がこのシステムの特徴である。

### 2.2 システム概要

本システムの基本的な動作の流れを以下に示す。

- ① ユーザは毎日一回PCの前で指定された運動をする
- ② システムはKinectのデータを基に運動を評価する
- ③ 指定回数運動すれば一日分のWWWアクセス権が与えられる

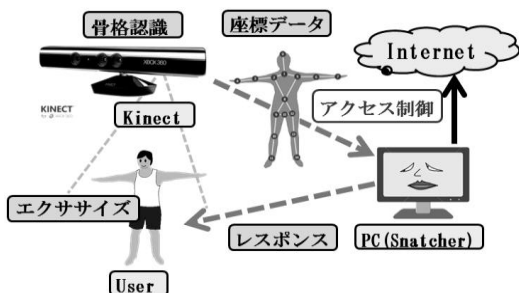


図1. システム概要図

本システムはメイン、運動、アクセス制御の3種のプログラムで構成される。メインプログラムは各種設定変更や運動開始操作等を行う。運動プログラムはKinectでユーザの動きを追跡し指定した運動を行わせる。アクセス制御プログラムは運動履歴に基づき

netshを用いてWWWのアクセス許可/不許可を切り替える常駐プログラムである。

## 3. 各種機能の説明

### 3.1 運動評価機能

Kinectを使って体の各関節16カ所の位置データを解析し運動の評価を行う。

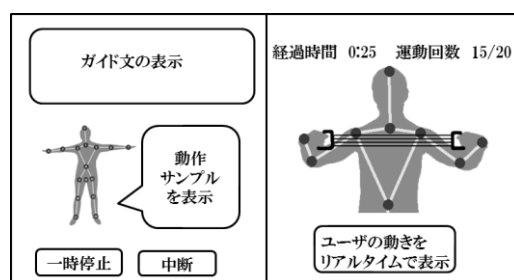


図2. 動作イメージ

### 3.2 アクセス制御機能

運動履歴を基にWWWアクセスの許可/不許可が自動で切り替えられる。常に閲覧可能でなければ支障の出るサイトはホワイトリストに登録することができる。

### 3.3 “借金”機能

アクセス遮断中に仕事等で緊急にネット利用したい場合には、運動せず”借金”してその日のアクセス権を特別に得ることもできる。しかしそれ以降は借金を返済するための運動が追加される。

### 3.4 “貯金”機能

借金とは逆に、余分に運動することでアクセス権を貯蓄できる。

### 3.5 体重管理機能

Wii-Fitを用いて体重を記録する。身長や目標体重、運動履歴などと組み合わせてグラフを作成する。

## 4. おわりに

本システムを用いることで健康的なSEが少しでも増えれば幸いである。

## 5. 参考文献

[1]<http://jibun.atmarkit.co.jp/llife01/special/health/health01.html>